

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、調剤薬局を経営する「調剤薬局事業」、居住系介護施設・通所介護事業所・訪問介護事業所の運営、医療施設等の賃貸業務及び医療・介護に付随する業務を行う「ヘルスケア事業」、医療機関等への医薬品の販売を行う「医薬品卸事業」、一般不動産の賃貸業務を行う「不動産事業」について、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、事業形態を基礎とした、「調剤薬局事業」、「ヘルスケア事業」、「医薬品卸事業」、「不動産事業」の4つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースで集計しております。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年3月1日 至 2018年2月28日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 連結財務諸 表計上額 (注) 2 |
|---------------------------------|------------|-------------|------------|-----------|------------|--------------|------------------------|
| | 調剤薬局 事業 | ヘルスケア 事業 | 医薬品卸 事業 | 不動産事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 22,484,152 | 5,897,418 | 2,401,994 | 131,403 | 30,914,968 | — | 30,914,968 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 365 | 869,343 | 35,640 | 905,349 | △905,349 | — |
| 計 | 22,484,152 | 5,897,784 | 3,271,338 | 167,043 | 31,820,318 | △905,349 | 30,914,968 |
| セグメント利益 | 1,773,690 | 335,422 | 117,438 | 73,545 | 2,300,096 | △894,125 | 1,405,970 |
| セグメント資産 | 7,020,566 | 8,746,435 | 1,206,422 | 1,618,420 | 18,591,845 | 7,131,946 | 25,723,792 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 (注) 3 | 155,832 | 385,071 | 8,311 | 28,333 | 577,548 | 50,267 | 627,815 |
| 減損損失 | 93,928 | 20,125 | — | — | 114,054 | — | 114,054 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 (注) 3 | 175,988 | 510,869 | 6,967 | — | 693,824 | 48,184 | 742,009 |

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△894,125千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用849,591千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額7,131,946千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産9,373,947千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び子会社の余資運用資金(現預金及び有価証券)、長期投資資産(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) その他の項目の調整額は、親会社の管理部門に係るものであります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用及び長期前払消費税等とこれらに係る償却額が含まれております。

当連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 連結財務諸 表計上額 (注) 2 |
|---------------------------------|------------|-------------|------------|-----------|------------|--------------|------------------------|
| | 調剤薬局 事業 | ヘルスケア 事業 | 医薬品卸 事業 | 不動産事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 22,452,871 | 6,089,619 | 2,551,713 | 127,970 | 31,222,175 | — | 31,222,175 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 365 | 848,076 | 3,120 | 851,562 | △851,562 | — |
| 計 | 22,452,871 | 6,089,985 | 3,399,790 | 131,090 | 32,073,738 | △851,562 | 31,222,175 |
| セグメント利益 | 1,429,581 | 264,433 | 39,883 | 36,202 | 1,770,100 | △726,830 | 1,043,269 |
| セグメント資産 | 8,334,544 | 8,633,163 | 1,315,192 | 1,455,507 | 19,738,407 | 6,476,490 | 26,214,897 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費(注) 3 | 176,383 | 401,644 | 9,303 | 28,189 | 615,520 | 37,787 | 653,308 |
| 減損損失 | — | 6,290 | — | 102,254 | 108,544 | — | 108,544 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 (注) 3 | 165,845 | 422,426 | 51,520 | 293 | 640,085 | 408,372 | 1,048,458 |

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△726,830千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用831,253千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額6,476,490千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産8,333,038千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び子会社の余資運用資金(現預金及び有価証券)、長期投資資産(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) その他の項目の調整額は、親会社の管理部門に係るものであります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用及び長期前払消費税等とこれらに係る償却額が含まれております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2017年3月1日 至 2018年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2017年3月1日 至 2018年2月28日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2017年3月1日 至 2018年2月28日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 全社・消去 | 合計 |
|-------|---------|---------|--------|-------|-------|---------|
| | 調剤薬局事業 | ヘルスケア事業 | 医薬品卸事業 | 不動産事業 | | |
| 当期償却額 | 117,858 | 34,093 | 2,335 | — | — | 154,287 |
| 当期末残高 | 546,758 | 334,670 | 42,242 | — | — | 923,671 |

当連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 全社・消去 | 合計 |
|-------|-----------|---------|--------|-------|-------|-----------|
| | 調剤薬局事業 | ヘルスケア事業 | 医薬品卸事業 | 不動産事業 | | |
| 当期償却額 | 155,476 | 34,093 | 2,335 | — | — | 191,905 |
| 当期末残高 | 1,065,161 | 300,577 | 39,906 | — | — | 1,405,645 |

(1株当たり情報)

| 前連結会計年度 (自 2017年3月1日 至 2018年2月28日) | | 当連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日) | |
|--|-----------|--|-----------|
| 1株当たり純資産額 | 4,854円02銭 | 1株当たり純資産額 | 5,011円02銭 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 646円24銭 | 1株当たり当期純利益金額 | 371円90銭 |

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2018年2月28日) | 当連結会計年度 (2019年2月28日) |
|--------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 純資産の部の合計額(千円) | 9,300,708 | 9,551,938 |
| 純資産の部から控除する金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る純資産額(千円) | 9,300,708 | 9,551,938 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株) | 1,916,083 | 1,906,183 |

3 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2017年3月1日 至 2018年2月28日) | 当連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日) |
|------------------|--|--|
| 当期純利益(千円) | 1,238,263 | 711,649 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益(千円) | 1,238,263 | 711,649 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 1,916,083 | 1,913,533 |

(重要な後発事象)

(持株会社体制移行のための会社分割)

当社は、2019年3月27日開催の取締役会において、2019年9月1日(予定)付で持株会社体制へ移行するにあたり、当社の完全子会社として株式会社メディカルー光分割準備会社(以下「分割準備会社」という。2019年9月1日付で「株式会社メディカルー光」に商号変更予定。)を設立することを決議し、2019年4月1日に設立いたしました。

また、当社が営む調剤薬局事業および医薬品卸事業(以下「本事業」という。)を会社分割(以下「本吸収分割」という。)により分割準備会社に承継させるため、分割準備会社との間で吸収分割契約(以下「本吸収分割契約」という。)を締結することを決議し、2019年4月1日に本吸収分割契約を締結いたしました。

また、当社の商号を、2019年9月1日(予定)付で「株式会社メディカルー光グループ」に変更するとともに、その事業目的を持株会社体制移行後の事業内容に合わせて変更することを内容とする定款変更を行うことを決議いたしました。

なお、会社分割による持株会社体制への移行、定款一部変更につきましては、2019年5月22日開催予定の定時株主総会で関連する議案が承認されることを条件として実施する予定であります。

(1) 持株会社体制への移行目的

当社グループは1985年4月に創業し、「良質の医療・介護サービスをより多くの人に提供する」という理念のもと、調剤薬局事業およびヘルスケア事業、医薬品卸事業、不動産事業を行っております。当社は、2004年11月に東京証券取引所JASDAQ市場に株式を上場し、2018年2月期(第33期)の連結売上高は30,914百万円となりました。

一方、当社グループを取り巻く事業環境は、調剤報酬および薬価改定や医薬品卸事業の価格競争激化等、厳しさを増しております。

このような環境のもと、当社は、グループ経営戦略機能、事業執行体制およびガバナンス体制を一層強化し、グループ企業価値のさらなる向上を図るため、持株会社体制へ移行することを決定いたしました。

当社グループが持株会社体制に移行する具体的な目的は、以下のとおりであります。

① グループ経営戦略機能の強化

グループ経営管理と業務執行を分離し、持株会社はグループ全体の経営管理を担うことにより意思決定の迅速化を図り、グループの成長スピードを加速させます。

② 事業執行体制の強化

事業会社は各々の事業分野に特化することにより、よりきめ細かく事業を管理し、社会変化や事業環境の変化にあわせ、機動的かつ柔軟な事業執行を行います。

③ ガバナンス体制の強化

持株会社が子会社の業務執行状況のチェックを行うことにより、当社グループ全体のガバナンスを一層強化し、経営の透明性を図ります。

(2) 持株会社体制への移行の要旨

① 本吸収分割の日程

| | |
|----------------------------|----------------|
| 分割準備会社設立および本吸収分割契約承認取締役会 | 2019年3月27日 |
| 分割準備会社設立 | 2019年4月1日 |
| 本吸収分割契約締結 | 2019年4月1日 |
| 本吸収分割契約承認株主総会(当社および分割準備会社) | 2019年5月22日(予定) |
| 本吸収分割効力発生日 | 2019年9月1日(予定) |

② 本吸収分割の方式

当社を吸収分割会社とし、分割準備会社を吸収分割承継会社とする吸収分割を行います。

③ 本吸収分割に係る割当の内容

本吸収分割に際して、分割準備会社は普通株式1,600株を発行し、その全部を当社に割当交付いたします。

④ 本吸収分割に伴う新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い
該当事項はありません。

⑤ 本吸収分割により増減する資本金
本吸収分割により当社の資本金の増減はありません。

⑥ 承継会社が承継する権利義務

本吸収分割により、分割準備会社は、本吸収分割契約の定めに従い、本吸収分割の効力発生日において当社に属する本事業に関する資産、債務、契約その他の権利義務（但し、本吸収分割契約において別段の定めがあるものを除きます。）を当社から承継します。

なお、分割準備会社が当社から承継する債務の承継については、重畳的債務引受の方法によるものといたします。

⑦ 債務履行の見込み

本吸収分割後、分割準備会社の資産の額は負債の額を上回ることが見込まれており、また、分割準備会社が負担すべき債務の履行に支障を及ぼす事態は現在のところ想定されていないことから、本吸収分割後においても、分割準備会社の債務の履行の見込みに問題はないと判断しております。

(3) 本吸収分割の当事会社の概要

| | 当社 (2019年2月28日現在) | 分割準備会社 (2019年4月1日設立時点) |
|-------------------------------|--|---------------------------|
| 商号 | 株式会社メディカルー光 | 株式会社メディカルー光 分割準備会社 |
| 所在地 | 三重県津市西丸之内36番25号 | 三重県津市西丸之内36番25号 |
| 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 南野 利久 | 代表取締役 南野 利久 |
| 事業内容 | 調剤薬局事業、ヘルスケア事業、 医薬品卸事業他 | 調剤薬局事業、医薬品卸事業 |
| 資本金 | 917百万円 | 10百万円 |
| 設立年月日 | 1985年4月17日 | 2019年4月1日 |
| 発行済株式数 | 2,035,000株 | 200株 |
| 決算期 | 2月末日 | 2月末日 |
| 大株主および持分比率 | イオン株式会社 25.06% ハウス食品グループ 本社株式会社 8.84% 南野利久 5.95% 株式会社サウス 5.75% 株式会社南野 5.75% | 株式会社メディカルー光 100% |
| 直前事業年度の経営成績および財政状況 (2018年2月期) | | |
| 純資産 | 9,300百万円 (連結) | 10百万円 |
| 総資産 | 25,723百万円 (連結) | 10百万円 |
| 1株当たり純資産 | 4,854.02円 (連結) | 50,000円 |
| 売上高 | 30,914百万円 (連結) | — |
| 営業利益 | 1,405百万円 (連結) | — |
| 経常利益 | 1,384百万円 (連結) | — |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1,238百万円 (連結) | — |
| 1株当たり当期純利益 | 646.24円 (連結) | — |

(注) 1. 当社は、2019年9月1日付で「株式会社メディカルー光グループ」に商号変更予定です。
2. 分割準備会社は、2019年9月1日付で「株式会社メディカルー光」に商号変更予定です。
3. 分割準備会社は、直前事業年度が存在しないため、その設立の日における貸借対照表記載項目のみを表記しております。

(4) 分割する部門の概要

① 分割する部門の事業内容

調剤薬局事業および医薬品卸事業

② 分割する部門の経営成績 (2018年2月期)

| | 本事業部門 (a) | 当社実績 (b) | 比率 (a/b) |
|-----|--------------|-------------|-------------|
| 売上高 | 22,350百万円 | 22,477百万円 | 99.0% |

③分割する資産、負債の項目および帳簿価格 (2018年2月28日現在)

| 資産 | | 負債 | |
|------|----------|------|----------|
| 項目 | 帳簿価額 | 項目 | 帳簿価額 |
| 流動資産 | 4,548百万円 | 流動負債 | 7,876百万円 |
| 固定資産 | 4,324百万円 | 固定負債 | 559百万円 |
| 合計 | 8,872百万円 | 合計 | 8,435百万円 |

(注) 上記金額は、2018年2月28日現在の貸借対照表を基準として算出しているため、実際に承継される金額は、上記金額に効力発生日までの増減を調整した数値となります。

(5) 本吸収分割後の状況

| | 分割会社 | 承継会社 |
|-----------|---|---|
| 商号 | 株式会社メディカルー光グループ (2019年9月1日付で「株式会社 メディカルー光」より商号変更予 定) | 株式会社メディカルー光 (2019年9月1日付で「株式会社 メディカルー光分割準備会社」よ り商号変更予定) |
| 事業内容 | 株式または持分の保有を通じたグ ループの経営管理等 | 調剤薬局事業および医薬品卸事業 |
| 設立年月日 | 1985年4月17日 | 2019年4月1日 |
| 所在地 | 三重県津市西丸之内36番25号 | 三重県津市西丸之内36番25号 |
| 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 南野 利久 | 代表取締役 南野 利久 |
| 資本金 | 917百万円 | 90百万円 |
| 決算期 | 2月末日 | 2月末日 |

(6) 会計処理の見通し

本吸収分割は、企業結合会計基準における共通支配下の取引に該当いたします。なお、本吸収分割により「のれん」は発生いたしません。

(7) 今後の見通し

承継会社は、当社の完全子会社であるため、本吸収分割が当社の連結業績に与える影響は軽微であります。

また、当社の単体業績につきましては、本吸収分割後、当社は持株会社となるため、当社の収入については、グループ会社からの配当収入、経営指導料、不動産賃貸料収入等が中心となる予定であります。

4. その他

(1) 役員の変動

① 退任予定取締役

代表取締役常務取締役 野間 誠司 (現 代表取締役常務取締役 薬局事業本部担当)

② 新任取締役候補者

取締役 安達 佳之 (現 上席執行役員 薬局事業本部長 兼中部地区長 兼関東事業部長)

取締役 高津 善之 (現 上席執行役員 管理本部副本部長 兼総務人事部長 兼薬局人事部長)

③ 異動予定日

2019年5月22日

(2) その他

該当事項はありません。